

科目	臨床実習Ⅲ-2	担当	飯塚 照史	履修学年	4年
時間数	90分×時限×180回(週1回)	履修区分	必修	単位数	8単位
<p>【授業目標・到達目標】 臨床実習Ⅲでは、病院や施設、地域での作業療法の役割を理解し、実習指導者の指導のもと、評価から目標設定、治療・訓練まで、作業療法過程のすべてを実施することが目標となる。具体的な目標は以下の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 病院や施設における作業療法部門での役割の理解 ② 適切な評価項目の選択 ③ 適切かつ安全な評価の実施 ④ 評価結果に対する解釈と統合 ⑤ 作業療法目標の設定 ⑥ 作業療法治療プログラムの立案 ⑦ 治療プログラムの実施 ⑧ 記録・報告の実施 ⑨ 専門職としての基本的態度の修得 <p>【履修注意】 本実習では、学内で習得した知識と技術を応用できるように積極的な姿勢で取り組むことが必要である。また、臨床実習の手引きを熟読のうえ臨床実習に臨むこと。</p> <p>【評価方法】 臨床実習指導者評価 6 割、教員評価 4 割で、最終的な単位認定は大学側で行う。原則として、実習期間で実習すべき日数の1/5以上欠席した場合は、評価不能とする。</p> <p>【試験について】 定期試験、再試験は実施しない。評価方法については、評価方法の項目を参照のこと。</p> <p>【予習・復習】 臨床実習前にこれまでに学内で習得した知識と技術を復習しておくこと。また、担当症例の評価や治療プログラムの実践前には指導者の確認の元、予習を行うこと。</p> <p>【教科書】 ・臨床実習の手引き(学内で印刷した冊子)。 ・臨床実習領域で必要となる専門基礎科目ならびに専門科目の教科書等。</p> <p>【参考書】 特になし</p> <p>【その他の注意事項】</p> <p>【授業計画・内容】 1から90回 臨床実習Ⅲ 施設見学、作業療法の評価・実践、これらの内容をまとめる。職業人としての対応、報告、連絡等を学ぶ。</p>					